



# おおぞら

コミュニティ・スクール  
長井市立致芳小学校だより  
令和2年11月12日 NO.15  
校是「和致芳」

## 110年の歴史と伝統 地域の願いに思いを馳せて。 ～11/1(日) 創立110周年記念式～

～式辞から～ 今日には伝統と歴史あるこの致芳小学校のことをよく知り、さらに良い学校にしていこうとする日だと思います。致芳小学校についてみんなと一緒に考えてみたい。いくつか質問をします。第1問 致芳小は人間でいうと今年で110歳ですが、この校舎になってから何年でしょう。正解は43歳です。みなさんのお父さんぐらいかもしれません。今では丈夫なコンクリートの建物です。雨が降っても雪が降っても地震が来ても大丈夫です。でも67年間は木の校舎で少し隙間があって、風が吹き込んだり雪が入ってきたりしたこともあったようです。エアコンも扇風機もなく、テレビもあまりありませんでした。第2問110年の中で卒業生、つまりみなさんの先輩は何人いるでしょう。

3000人位、6000人位、9000人位。正解は、明治43年から昭和21年まで4085人、昭和22年から5215人、合わせるとちょうど9300人です。全校生



が1番多かったのは、昭和21年の1183人でした。いまの10倍近い人数です。戦争が終わり、小学校6年・中学3年・高校3年という仕組みがこのころ始まりました。また、今年この学校に来て、感じたことは



はたくさんの木や花に囲まれたきれいな学校だということ。よく見てみると～の森とか庭とか名前がついています。そこで第3問〇〇の鐘、〇〇の庭、〇〇の森、〇〇丘、〇〇コース、〇〇広場この名前は？平和の鐘、せんだんの庭、老いの森、緑が丘、みどりのコース、仲よし広場、かがやき広場、まつぼっくり広場です。50年前頃、たくさんの木々や花が植えられました。その頃の記録にはこう書かれています。「60周年の記念として今年には緑をたくさん増やそう。現代の子供は機械で作られた規格品の中で暮らし、『みみちく』になっている。子供の時はもっと自然の中でたくましく育てたい。学校は学習の場であるとともに、汗にまみれ、泥だらけになって体力のありったけを発散させ、楽しく遊べる遊び場であるようにしたい。校庭を広げ、遊具の充実を図りたい。そして、葉山の大自然を背景とした雄大な自然美に加えて、緑に包まれ、四季の花々の中で、生活することにより、自然の美に感動し、おおらかさと健康を身につけさせたい」と。そういう願いがあったのです。なかよし広場のたくさんの遊具や緑のコースのたくさんの木々はその願いをもとに植えられ、大きく育っています。私は、こう答えたいと思います。「安心してください。休み時間たくさんの子供たちが今も遊んでいますよ。かくれんぼをし、汗をかいて、思いっきり走り回って」と。地域の方々の願いは、昔も今も変わりません、元気に遊び、楽しく学ぶ学校をこれからもみんなで作っていきましょう。 ※4校時目には山形県教職員互助会の協力で、マリンバ&パーカッションアンサンブル「チアーズ」の皆さんのコンサートで体いっぱい音楽を楽しみました。

はたくさん



子供たちが今も遊んでいますよ。かくれんぼをし、汗をかいて、思いっきり走り回って」と。地域の方々の願いは、昔も今も変わりません、元気に遊び、楽しく学ぶ学校をこれからもみんなで作っていきましょう。 ※4校時目には山形県教職員互助会の協力で、マリンバ&パーカッションアンサンブル「チアーズ」の皆さんのコンサートで体いっぱい音楽を楽しみました。

## 創立110周年を迎えて

児童代表 6年生

今年度、致芳小学校は創立110周年を迎えました。長い歴史の中、守り続けてきたものがあります。それは和致芳(和して芳しきを致せ)の心です。先日、全校朝会でなぜ和致芳という言葉ができたのかを教えていただきました。私は和致芳の言葉には、平和を大切にして、協力して良い地域をつくらうという意味があることを初めて知りました。このような和致芳の心をこれからも守っていくために大事にしたいことを3つ紹介します。

1つ目はあいさつです。私は運営委員としてあいさつが響く学校を目指してあいさつ運動などに取り組んできました。あいさつをすることで人と人の絆は深まると思います。

2つ目は、地域の行事に参加することです。例えば、致芳地区には肝試しやウオーラリーなどの多くの行事があります。それに参加することで、地域のよさに気づくことができます。私もウオーラリーに参加したとき、致芳地区を歩いて問題を解くことで、改めて致芳地区のよさに気づくことができました。

3つ目は、地域の方と関わることです。私たちは地域の皆さんに支えてもらっています。例えば、登下校の時には横断歩道の所に立っていただき、私達の安全を見守ってもらっています。また、今年度は6年生として獅子踊りの練習がありました。獅子踊りの夜間練習では、地域の方にご協力いただき、お師匠様として細かい動きまで指導していただきました。熱心に指導していただいたおかげで、学習発表会では、自信をもって獅子踊りを披露することができました。このように学校・地域がつながっていることこそが致芳小の素晴らしさだと思います。今年度私たちは卒業しますが、これからも和致芳の心を大切にして地域の一員としてかかわっていきたいと思います。



## 5年山形見学・2年町たんけん で学びを深める ～地方を学ぶ・致芳を学ぶ～

11月5日(木)5年生が山形見学に行ってきました。山形郷土館「文翔館」と「産業科学博物館」の見学です。例年とは違いましたが、なによりみんなと一緒にバスに乗って出かけ、市内の様子を見学し、弁当を食べてくるのは楽しいことです。5年生では予定されていた宿泊学習も親子行事の葉山登山もできなくなったので、見学はとても楽しみにしていたようです。6日(金)には2年生の生活科で身近な地域の仕事調べとして、秋の町たんけんに行ってきました。今回ご協力いただいたのは、ローソン成田店さん、大千醤油さん、日進堂菓子舗さん、平和堂薬房さん、成田郵便局さん、花ショップポピーさん、たまげたラーメンさんです。5つの班に分かれて「見て・聞いて・触って・においを感じて」さらには「味わって」体全体を使って体験し、たくさんの質問をしてそのお店の秘密に迫ってきました。



致芳小学校のホームページ・ブログでも子ども達の様子をお知らせしています。右のQRコードからどうぞ。

